

(別添3)

宇検村 校務DX 計画

1. 校務系・学習系ネットワークの統合

現在、児童生徒の個人情報を取り扱う「校務系」と、児童生徒が教育活動に利用する「学習系」の二つにネットワークを分離している状況である。そのため、校務用の端末と学習用の端末を用意している。今後は、十分なセキュリティ対策を行った上で、教員の利便性向上も考慮しながら、1台の端末で利用できるように校務系と学習系のネットワーク統合に向けて検討する。

2. 校務支援システムのクラウド化

現在、校務支援システムは児童生徒の個人情報等を扱うため、閉鎖されたネットワークで利用している。そのため、学習系のデータと校務支援システムのデータ関係が困難である。今後は、十分なセキュリティ対策を行った上で、学習系データ、保護者連絡ツール、汎用クラウドツールと連携できるように、校務支援システムの早期のクラウド化を検討する。

3. 校務のデジタル化

宇検村では、校務支援システム内のグループウェア機能により、学校-学校間、村教育委員会-学校間の文書連絡・資料送付に活用しています。また、教職員1人1人に業務用のメールアドレスを付与しており、外部との連絡に活用しています。さらに、保護者連絡アプリを導入しており、保護者への連絡についても教職員の負担軽減やコミュニケーションの迅速化ができる環境を構築しています。

4. FAX・押印の見直し

FAX・押印の見直しは、校務の効率化及びペーパーレス化を促進するため必要である。FAXについては、電子メール及び保護者連絡ツール等の活用により、現状ではほとんど使用していない状況である。押印についても見直しが進んでいるが、必要なもの unnecessaryなものを点検し、さらに進めていくよう検討する。